



発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

ペルーへ (最終回)

主任司祭 **中村 満**

七日目の夕刻、マチュピチュ村を
 発ち、列車、専用車と乗り継ぎ、夜
 遅くクスコに着く、ホテルで夕食を
 摂り、就寝。

ペルー八日目。朝食後、十時ごろ
 まで自由行動。クスコのカテドラル
 とインカ時代の遺跡を徒歩で巡り、

古都の雰囲気堪能。その後、専用
 車でクスコ空港へ。午後一時頃に
 リマに向け出発。九〇分程でリマ
 着。専用車で宿泊先まで移動し、夕
 食まで自由行動。事前連絡していた
 が、リマで働いている同郷出身のシ
 スターの迎えを受け、修道院を訪問。



しばし談笑。宣教
 者の心意気に感じ
 入った。夕食は、
 ペルーでの拠点と
 していたペンショ
 ン・カントウータ
 で頂く。ママさ
 んが研究熱心な方
 で、日本食のラー
 メン、天ぷら、ご
 はん、みそ汁、漬
 け物を出してくだ
 された。材料はほ

とんどペルー産、ほぼ手作り。
 麵を作る手動式の機器を欲し
 かったな。

ペルー九日目。ペルー最終
 日。朝食を済ませ、日本語ガ
 イド付きでリマ市内観光へ。
 カテドラル、大統領府、商店
 街などを歩く。大統領府では

衛兵の交代式があるというので、暑
 い中一時間ほど立って待ち、他所に
 一人で行くこともできず疲れが倍増
 した。昼食は市内で現地人に人気
 のレストランで。数種類の魚介類の

入った海鮮マリネ？は、中々の物
 だった。イカリング、カニ風味のラ
 イスも良し。昼食後、「砂漠の一滴」

会十周年感謝ミサのため、フラン
 シスコ会の修道院へ。現地の日系の
 信徒二十数名の参加も得てチャペル

でミサを捧げた。ミサ後、軽食付き
 で関係者達と交流会。日系の方々が
 作ってくれた海苔の巻きずしには懐

かしさを覚えた。その後、ペルーで
 は有名な聖人、リマのローザが生活



していた修
 道院やチャ
 ペルを訪ね
 た。また、

すぐ傍にあ
 る黒人の聖
 人マルチン
 の生家も外

観ただけが
 見ることが
 できた。マ

ルチンはローザと幼なじみだったと
 いう。その後、専用車でペンシヨ
 ンに戻り、夕刻、ペルーでの最後の

晚餐。食後、お土産や初めて買った
 ベビーアルパカのセーターなどの荷
 造りをし、八時過ぎに空港に向け出

発。十一時半発のアメリカン航空に
 乗り、経由地のグラスへ。七時間程
 でダラス空港着。十一時前に成田に

向けて出発。日付変更線を超え午後
 二時半ごろ成田着。夕刻、成田から
 福岡に飛び、八時過ぎに福岡空港に

着いた。空港から九州号に乗り、夜
 中、やっと長崎着、泊。我が家までは、
 もう一海か！

今回は、念願のアメリカ大陸に足
 跡を印すことができた旅であった。
 異国に生活の場を求め、人生をかけ
 た人々との出会いは何よりも貴重な
 体感であった。その精神力、信仰力
 には圧倒された。



花とともいっ…

祭壇に絶えず飾られている生花。ごミサにも一段と華やかさを演出しています。みなさんの生花が毎週変わっていることに気づいていますか？ これは現在六名の方が毎週ひとり又は二人で当番を決めて活けて下さっているお蔭です。今回はこの生け花を二十年間続けて三月に引退された大川君代さんをご紹介します。

大川さんは二十年前、当時の主任神父であった平野神父様より「祭壇の花を婦人会で受け持つてほしい。今シスターが活けているが、やはり自分たちの教会は自分たちが守るべきである。」と相談され、当時婦人会長だった事から引き受け活動が始まったもの。

「それまでは、花が少ない時期に造花を数本使用していましたが、祭壇に飾るのだからすべて生の花にして下さいと要望されました。聖堂内は広いので遠くからでも見栄えするように活けたり、お祝い日には出来るだけ華やかに活けたりと、とても苦労しました。また後日花が枯れていないか？ 水は足りているか？ といつも気になり特に夏場は花が傷みやすくて気

がかりでした。それまでシスターがひとりで行っていたのでその大変さを毎回しみじみ感じていました。長いようで短い二十年だったと感じています。信者さんの中には自分の庭に咲いている花を届けたくれたり、活けた後の掃除を手伝ってもらったりと、たくさんの方から随分助けて頂きながらここまで来ることができました。しかし、自分も年を取り水の入った花瓶を上げ下げするのが難しくなつたので引退を決意しました。」と大川さん。

毎回教会に通い、香部屋でひっそりと花を生ける奉仕を二十年間続けることがどれほど大変で有り難い事か…。本当に頭が下がる思いです。

みなさんもごミサに来たら祭壇の両脇に活けられた花に目を留めて下さいね。大川さん本当におつかれさまでした。



小学生黙想会

七月十八日(月)海の日に、福江教会の小学生は黙想会を行いました。今年の黙想会は、「いつくしみの特別聖年」ということで「神さまのいつくしみを多くの人に」というテーマを掲げ、聖マリアの園への慰問を行わせていただきました。

まず、午前中に「いつくしみって何？」を紐解くためのお話を神父様にしていただき、その後に入所者・利用者に贈るためのプレゼント(うちわ)を作成しました。子どもたちそれぞれ自分の手でところを込めて絵を書き、励ましの言葉を書き入れて、一生懸命作業に取り組んでいました。そして、午後から早速、その贈り物を携えて、聖マリアの園を訪れ、交流の時間をいただきました。

最初、声をかけるのに緊張していた子どもたちも、贈り物を受け取って喜んでくださる入所者の方々の姿を見て嬉しくなり、次第に笑顔で触れ合う時を持てるようになっていました。最後には、貴重な一日をいただいたことへの感謝のミサを、そのまま聖マリアの園の方々と共に捧げさせていただきました。

この黙想会を通して、誰かのため、何かのための心のこもった行いは、

相手にも、自分にも喜びに満ちた平和なところが神さまによってもたらされるということを改めて実感させられました。今回、子どもたちの慰問を快く承諾して下さった聖マリアの園の皆さまに心より感謝申し上げます。

〈黙想会の感想〉

○4年生 西津陽向にしづひなた

おじいちゃんおばあちゃん達が、喜んでくれたからうちわを作って良かったなあと思いました。

○3年生 青山じゅんのすけ

元気がなかったおじいちゃんおばあちゃんも、プレゼントをわたしたらにこにこだった。

○2年生 もりあいの

うちわを作るのはたのしかったです。うちわをわたしたとき、おじいちゃんやおばあちゃんたちがにこにこしてうれしかった。

○1年生 まとりさえこ

うちわをくぼって、うたもいきよくうたってたのしかったです。うちわをあげて、わたしのあたまをなでてくれるひともいました。とてもうれしかったです。





今年で二四回目となるルルド祭が行われた。マリア様への献香と花撒きの後、井持浦教会へ向かってロザリオ行列を行った。記念ミサで浦頭

できごと フラッシュ!



ルルド祭 (5月8日)

教会の岩崎神父様は「マリア様の示された無償の愛は、神様のいづくしみに通ずる。神様のいづくしみは全ての人、特に弱い立場に置かれている人に向けられている。私たちも視点を変えて、普段いづくしみの外に置かれている人に目を向けて行きたい。」と述べられた。

聖遺物巡回 (5月15日~20日)

いづくしみの特別聖年に当たり、ポーランドより二つの聖遺物が国内を巡回しており、福江教会にも顕示された。写真右が「神のいづくしみの主日」を制定された聖ヨハネ・パウロ二世の血、左が「神のいづくしみへの礼拝者」として知られる聖ファウステイナ・コヴァルスカの遺骨。教会では聖遺物の顕示式が行われた。聖ヨハネ・パウロ二世に対する祈りと

聖ファウスティナの取り次ぎを求め祈りを捧げた後、聖遺物が聖堂内を巡り祝福を受けることが出来た。



ミニコンサート (7月3日)



天神教会 (佐世保市) の平本義和神父様率いる合唱団コラル長崎によるミニコンサートが行われ、美しくも迫力のある歌声が披露された。福江教会のシスターによる合唱団コール・アンジェラスとの共演もあり、大いに盛り上がった。最後は観客も一緒に参加し「いづくしみの特別聖年」の公式賛歌―いづくしみ深く御父のように―を歌ってコンサートは幕を閉じた。

レクイエム・プロジェクト

長崎 in 五島福江 (7月31日)

作曲家・上田益氏が代表を務めるレクイエム・プロジェクトによる、レクイエム・プロジェクト長崎 in 五島福江が開かれた。同プロジェクトの長崎合唱団を中心に全国各地の団



員など約80名が集まり、オルガニスト・佐々木悠氏の美しい演奏に合わせ、普段耳にしない規模の大合唱が繰り広げられた。地元の合唱団であるコールフロイデも賛助出演し、心に響く合唱を披露。満席の会場全体が感動に包まれた。最後にレクイエム・プロジェクトとコールフロイデに加え、地元の福祉施設である、ほっとホーム富希の利用者も参加し―未来へ、大切なふるさと―を歌って盛況の中終了した。

聖母祭 2016

八月十四日(日) 恒例の聖母祭・夜市が開催された。今年は、四月に発生した熊本地震の被災者への復興支援をテーマに、屋台やバザー等の売り上げを被災者の方へ寄付することになった。

お盆の時期の開催の為か、連日の猛暑の影響か例年より客足は伸びなかったが、それでも多くの方に来て頂き出店や出し物、福引きなど楽



●シスターの手作り品の販売は今年も盛況でした。



●中村神父様は自らエプロン姿でフライドポテトを出張販売。

しんで頂けた様子であった。準備や片付けに協力頂いた方々、大変お疲れ様でした。



●今年は流しそうめんに挑戦。子供たちに好評でした。



●神父様の出し物での一コマ。中村、小島両神父様の二人羽織は息ピッタリ?でした。

《寄付・香典返し》御礼

- 濱邊 キク様
 - 故マチアス 濱邊 榮様
 - 谷尾 末広様
 - 故ヨゼフ 谷尾 武男様
 - 川尻 昭男様
 - 故アンナ 川尻 房江様
 - 中山 博子様
 - 故ヨゼフ 川端 一夫様
- 右記の方から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。
ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

今後の日程

- 8月23日(火)
福島神父様・鍋内神父様銀祝お祝い
10時30分 記念ミサ
(早朝ミサはお休みです)
ミサ後祝賀会(信徒会館)

一杯茶屋は毎月一回〜二回、御ミサ後、信徒会館で神父様・シスター・信徒達がざっくばらんに語らうスペースです。美味しいお菓子もありますので是非お子さんと一緒にいらしてください。
教会に興味のある未信者の方もお気軽にお誘い頂ければと思います。開催日には立て看板も教会入口に設置しています。



編集後記

今回は、久々に広報委員会の編集会議に参加することが出来、「こころ」の編集にかかわる事ができた。一年間離れてみて、改めて、教会を通じての仲間の良さを感じた。そして、広報誌「こころ」を発行していく為に、委員長をはじめ委員の方々が苦勞されていることを、少しでも信徒の皆様に分かっていただけたら、と思った。

ニュースで、長崎の教会群と関連遺産が二年後の世界遺産登録に向けて再度、国の推薦を受けたと報道がされた。教会に属する私達も、何らかのアクションを起こさないといけないのでは、賛成、反対どちらにしても、自分達の意見を出す機会があればこれから、もっとこの事について触れていけたらと思う。(N)

- 9月18日(日)
聖ミカエル中村神父様
霊名のお祝い式
敬老祝賀会(信徒会館)
- 9月22日(木)
ウルトラ50周年記念大会